

空飛ぶクルマの安全な運航のための電波アセスメント研究

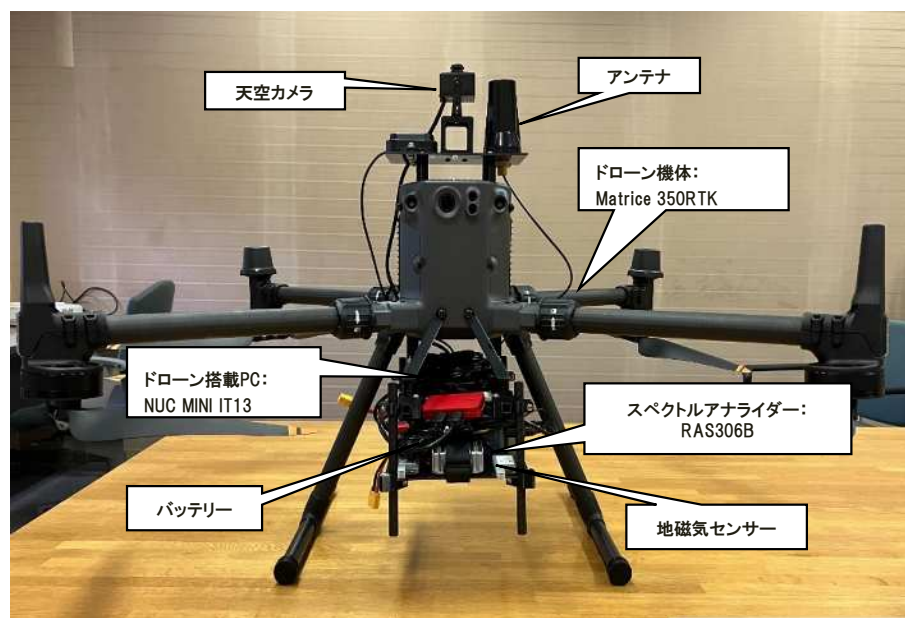
■解決課題

空飛ぶクルマの想定航行域である150m以下の低空域には様々な電波が混在している状況があり、ドローン/空飛ぶクルマの安定飛行には、電波的やGPS衛星の「見通しの悪いエリア」、地磁気の乱れが発生しているエリアを、飛行ルートとして避けるべき。しかし、現状では電波状況や地磁気の乱れを可視化できていない。

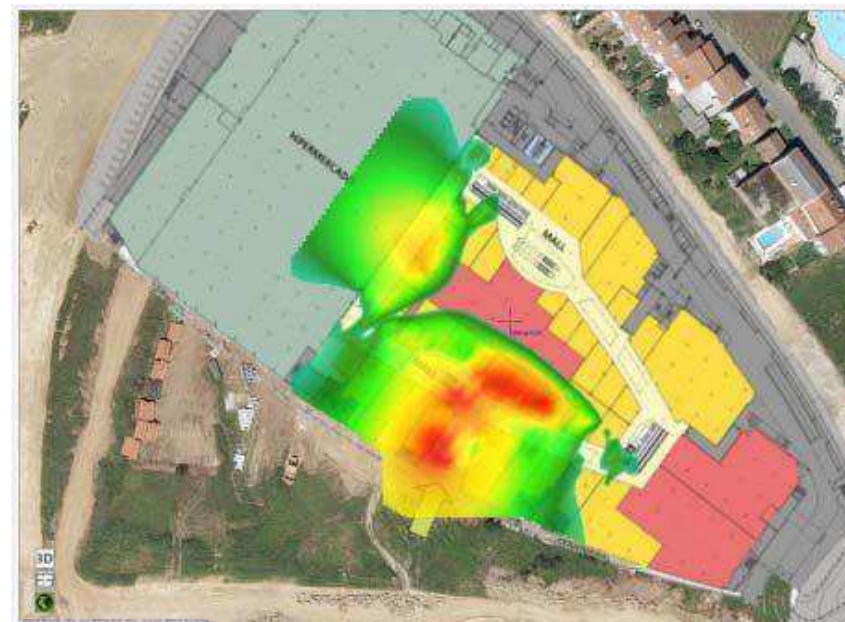
■解決手法

電波・GPS・地磁気のセンサーを搭載した専用ドローンを開発し、立体的な空域をフラットな飛行でデータ収集行う。収集データから空飛ぶクルマ「空中リスク“ヒートマップ化”」技術の開発。

昨年度制作したデータ収集用ドローン



「空中リスク“ヒートマップ”」イメージ例



出典： <https://www.ikeriri.ne.jp/develop/acrylicwifi/heatmap.html>

コンソーシアム（企業連携体）

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

インターリスク総研株式会社

リスク評価法開発

航路ヒートマップ開発保険商品化



柳井電機工業株式会社

全体統括、現地調査
データ収集ドローン開発
フライトオペレーション



大分県産業科学技術センター

センシング、データ収集
高周波・GPS・地磁気